

三愛 view

発行所：三船病院相談室
 創刊日：2003年8月15日
 〒763-0073
 香川県丸亀市柞原町366
 Tel 0877-23-2341
 Fax 0877-23-2344



「スーパー救急スタート」

院長 三船 和史

三船病院では今年の1月1日から精神科救急病棟（通称“スーパー救急”）をスタートさせました。そのお話をする前に、そのスーパー救急の土台となる三船病院の大規模建て替え工事（第1期工事および第2期工事）の進捗状況等についてお話したいと思います。

平成28年4月に始まった第1期工事が平成29年11月初めに終了し、3階建ての新館が完成しました。1階は作業療法センターや歯科など、2階は主にデイケアセンター、3階は病棟です。それらは従来からあるものですが、新しく、より機能的となり、スタッフは働きやすく、利用者はより快適な環境で治療を受けたり活動することが出来るようになりました。

引き続き第2期工事が始まり、三船病院のシンボルでもあった時計台のある5階建ての建物が巨大な重機で取り壊されつつあります。そして、この春からその跡地に2階建ての建築工事が始まります。2階は認知症病棟、1階は外来棟になります。今回の大規模建て替え工事の目的は、あまり使われなくなっていた古くて大きな建物を取り壊すことと、これまで手狭であった外来棟を造り直して、外来機能を充実させることであり、結果的に大規模な工事になってしまいました。外来棟に隣接して、売店喫茶軽食の機能を持つ専用棟をつくり、従来のアゴラの規模も大きくし、入院患者様の憩いの場とするとともに外来者にとってもより魅力ある場所にする予定です。

さて、三船病院ではこれまで精神科急性期治療病棟を運用してきましたが、冒頭に述べましたようにいよいよスーパー救急を始めました。スーパー救急は、地域における精神科救急医療を担うという点で、従来の精神科急性期治療病棟とは大きく異なります。しかし、精

神科急性期治療病棟の実績がなければスーパー救急は実現しません。というのも、その施設基準の中には過去1年間の各種数値の実績が求められるので、1年以上にわたって準備をする必要があり、最後の4ヶ月はまったくの施設基準通りの運営をし、その実績をもってこの度承認されました。

スーパー救急の施設基準としての実績数値は、年間の時間外外来受診者が200人以上であること、年間の時間外入院患者数が20人以上であること、その病棟の1年間の措置入院と応急入院の合計が20人以上であること、年間の新規入院患者（3ヶ月以上精神科に入院していない）の6割以上が任意入院でないことなどです。それらすべてを満たさなければならず、決して容易ではありません。しかし、自分たちが、地域医療を担っているという自覚がこの難しさを克服していくものだと感じています。香川県では夜間休日の輪番制の精神科救急体制が敷かれており、各精神科医療機関が持ち回りで当番を引き受けていますが、当院では、精神科救急病棟認可のための実績を1年前に作り始めたと同時に24時間365日救急患者を受け入れる体制を整えてきました。スーパー救急実現のためには、病院全体の意識改革が不可欠であり、直接精神科救急に対応する医師、看護師、精神保健福祉士が一丸となって取り組み、チーム医療がより深化したと思います。

来年2月頃には第2期工事が終了し、いよいよ新しい外来棟が完成します。その新しく、すばらしい機能を使って、精神科救急により一層各職種一丸となって取り組んでいきたいと思っています。



新病棟への引っ越しを終えて

3病棟 看護師長 平賀 恭子



特殊疾患病棟は、精神疾患に加え重度の身体的な障害があり、肢体不自由で日常生活において介護を必要とされる患者様が多く入院している病棟です。三船病院では、平成27年4月より、施設基準を精神療養病棟から特殊疾患病棟に変更スタートしました。定床56床で、

身体合併症を持つ患者様、胃瘻や鼻腔栄養で寝たきりの患者様、長期にわたり療養が必要な患者様、また、三船病院唯一の開放病棟ということもあり、退院を控えた患者様など多様な入院を受け入れています。

この度、病棟が新築され11月13日に引っ越しを行い

ました。新病棟は、患者様の安全・安楽で快適な療養生活が実現でき、患者様の残された身体機能を最大限に発揮できるように機能性を重視して、設計の段階から携わりました。車椅子でも動きやすい広い動線を取り、フロアはクッション性で、転倒時の衝撃を最小限に抑えるよう配慮しています。浴室は、寝たきりや湯船に浸かることのできない患者様にも暖まってもらえるよう2種類の特浴槽を設置しました。身障者用トイレは個々にあった使い方をし頂くために、広さを工夫しました。今ではベッドサイドでポータブルトイレを利用されていた患者様3名が、トイレに行けるようになりました。食堂は、車椅子のままでも食事がしやすいテーブルを設置しました。患者様が美味しく食事を食べ続けられるよう口腔ケアの充実を図るために、車椅子用の洗面所を3箇所9個設けました。岩田歯科医師の指示のもと、毎日の個別的口腔ケアを実施しています。病室の大きな窓からは明るい陽の光が降り注ぎ、ベッドに横たわりながら讃岐富士(飯野山)が一望でき、普段ベッド上での生活が主体で外出の機会の少ない患者様からとても喜ばれています。

このような環境の中で、一人ひとりに合わせた日常生活の援助を通して、患者様の持てる力を十分に引き出せるような支援と、そして何より患者様が安全で心豊かに療養生活が送れるように、三愛の理念「病院の愛」を提供していきたいと思えます。



三船病院医師からのメッセージ・・・



「生きる」に寄り添う

三船病院 医師 大西 睦美

以前、大学病院に勤めておりました際、緩和ケアチームの一員として、終末期の患者様に関わらせていただく機会がございました。

精神科医として駆け出したばかりの頃、とある末期の乳癌の患者様の担当をさせていただきました。強い身体的苦痛、莫大な死への不安や恐怖を抱えておられたでしょうに、自分がお部屋を訪ねると、いつも笑顔で迎えて下さりました。他愛もない雑談をして下さりました。

お体の状況が刻々と厳しくなるなかで、ある日、笑顔ではなく、涙を流しておられました。「死にたくない、生きたい」という心の叫びが、ひしひしと伝わってまいりました。言葉をかけられずにいると、「先生、いつもありがとう」と。その言葉に、お部屋を退室したのちも、あふれ出る涙が止まりませんでした。その後間もなくお亡くなりになられたのですが、懸命に、必死に、生きようとされるその患者様との出会いは、精神科医としての重みを、改めて強く感じる大切な機会となりました。私達は、患者様の「生きる」ということに寄り添う、人生と向き合う立場にあるのだと。

精神科の診療においては、もちろん、必要に応じてお薬の調整を行うことはあります。しかし私は、何よりの基本は精神療法だと考えております。患者様とどのように関わっていくかが、治療の太い柱であり、何よりの大きな力になると。

この世界に、何十億人も人間がいるなかで、その何十億分の一の確率で、ひとりひとりの患者様に出会い、関わらせていただいている・・・これはまさに、奇跡的な確率だと思うのです。その奇跡の出会いに心から感謝するとともに、少しでも患者様の苦痛を和らげ、笑顔でご自身の人生を生きていけるよう、お手伝いのできればと思っております。

三愛会 トピックス

★第42回 相談室セミナー

昨年11月2日(木)に相談室セミナーを開催しました。中讃保健福祉事務所よりキャラバン隊をお招きして、地域で暮らす当事者の方から退院後の過ごし方やいきがいなどについて、たくさんのお話を伺いました。参加された皆様は、自分がもし退院したら…と思い浮かべながら、心配なことや気になることをキャラバン隊の方々に積極的に相談されていました。わきあいあいと和やかな雰囲気の中たくさんの意見が飛び交い、とても充実した時間になりました。



★三船病院 クリスマス会

昨年12月25日に毎年恒例のクリスマス会を開催しました。インテイクマジシャンでるした様をゲストにお招きし、冗談を交えながらのマジックを披露していただきました。とても愉快で不思議なマジックに、会場は参加された皆さんの真剣な表情と歓声でいっぱいとなり大変盛り上がりました。その他、ハンドベルの演奏を聴いたり、クリスマスケーキやプリンアラモードなどのクリスマスメニューを食べるなど、クリスマスムードを味わいながらとても楽しい時間を過ごすことができました。



三船病院 委員会活動紹介

教育委員会

委員長 看護副部長 川田 知子

三船病院教育委員会では、病院各部門における多職種によって構成し、毎月第1水曜日に委員会を開催しています。各委員会や関係部門の協力のもと、計画した院内教育プログラムにおいて全職員が共に学び、職域を越えた医療チームとして三船病院の理念、目標を実現しレベルの高い精神科医療を行うことを目指しています。

今回は、看護部の教育委員会のご紹介をさせていただきます。

看護部では、新卒者や中途採用者を対象とした新規採用者研修、現任者研修、看護助手研修、中堅看護師研修、管理者研修を年間計画のもと実施しています。精神科病院で業務する上で、必要な基礎知識や精神科

看護の特殊性を身に付け、精神科看護師としての主体性を持ちケアの質向上につなげる事を目指しています。講師には、大学教授を始め認定看護師等外部講師を招待し、また院内の看護管理者が担当し実施しています。多くのスタッフが興味や目的を持ち参加してもらえるよう企画検討を行っています。

また、習得した技術をもとに実践した看護結果の活用や業務の評価を看護研究としてまとめ、精神科看護協会や中国四国精神保健学会に毎年3~4題発表しています。この発表を終結とするのではなく、このことを起点に新たな創造性を持ち患者様のニーズに沿った看護提供を行っていきたいと考え活動しています。

《委員会》

- ・教育委員会(第1水曜日)
- ・個人情報保護委員会(第1水曜日)
- ・情報システム委員会(第1水曜日)
- ・クリニカルパス委員会(第1水曜日)
- ・地域生活支援委員会(第1水曜日)
- ・行動制限最小化委員会(第1金曜日)
- ・人権委員会(第1金曜日)
- ・医療安全管理委員会(第2水曜日)
- ・衛生委員会(第2水曜日)
- ・業務改善委員会(第2水曜日)
- ・診療録管理委員会(第2金曜日)
- ・薬事審議委員会(第2金曜日)
- ・院内感染対策委員会(第3金曜日)
- ・栄養管理委員会(第2水曜日)
- ・褥瘡予防対策委員会(第2水曜日)
- ・患者サービス向上委員会(第2水曜日)
- ・病院機能評価委員会(水曜日)
- ・倫理委員会(年1回)
- ・医療ガス安全管理委員会(年1回)
- ・予算管理委員会(年1回)
- ・接遇管理委員会(年2回)
- ・診療情報提供委員会(随時)



【介護老人保健施設 福寿荘】

「支援相談員の仕事を通して」

相談支援員 山脇 一枝

私は福寿荘に一昨年1月より看護師として勤務しております山脇と申します。安藤相談員が出産のため休みに入る間、相談員として・・・というお話を頂き、何事も経験！と思い現在、悪戦苦闘しながら相談員の仕事をさせて頂いています。

相談員の仕事といっても多々ありますが、一番緊張するのが入所相談の為に来荘されたご家族の相談をお受けする場面です。家庭での介護に限界を感じ、苦渋の決断で施設入所を・・・と来荘されるケースや、現在入院中の病院より退院するよう言われ、藁にもすがる思いで入所出来る施設を探されて来荘される方が多いように感じます。初対面でお互いに緊張感のある中で、どこまで雰囲気や和らげ、ご家族に対して必要なアドバイスができ、自分の知っている情報を伝えることができるのか・・・それが現在、知識・経験不足である私にとっての一番の課題であります。まさにこの相談員の仕事は一期一会。縁あって出逢えた人々とのつながり・絆を大切に、皆様に喜んで頂ける様に努力していきたいと思っています。こんな私ではありますが、どうぞ数ヶ月のあいだ、長い目で見守っていただければと思います。どうぞ、よろしく願い致します。

【三愛会コミュニティセンター】

「就労移行支援事業みなみの取り組みについて」



就労移行支援事業所みなみ 松田 孝枝

就労移行支援事業みなみは、現在15名の方が企業で働くことを目指して取り組んでいます。開所4年目で、12名の方が就職、殆どの方が継続して働かれています。訓練生にとって就職は大きな目標ですが、ゴールではありません。長く働き続けるためのスタートです。その為、定期的な面接や密な職場訪問など就職後の定着支援は、要望も高く力を入れています。職場環境の変化や本人の悩みをキャッチし迅速に対応することや、本人と企業との橋渡しの役割は重要です。また、障害者就業・生活支援センターくばらやハローワーク、関係機関との連携は、大きな力となっています。

昨年は、新たな取り組みとして「家族と卒業生の会」を開催しました。訓練生は日頃の活動として、作業映像やレポートにまとめて発表した後、卒業生とご家族、訓練生でグループワークを行いました。卒業生からは、就職に向かう活動で契約企業での実習を行ったことが力になり、その後実習を通じて求職条件を整理していった経験を聞き、それぞれの思いを語り合いました。戸惑いもありましたが、試行錯誤しながら皆で協力して当日を迎えることが出来たことは自信になり、これまでに学んだことを振り返る良い機会となりました。現在の活動は、作業能力の向上だけでなく就労に必要な知識を座学やビジネスマナー等で学び、長く働き続けるために必要な力をつけられるよう取り組んでいます。また、苦手な課題に取り組む方法や対応を身につけるためにどんな活動が必要か検討し、本人に合った新たな活動を柔軟に取り入れています。

今後も、現状に満足することなく取り組み、また企業や関係機関との連携を大切に、支援活動の充実を図りたいと考えています。



《三船病院からのお知らせ》

【行事予定】

- 三船病院家族会
- 日時: 5月13日(日)
- 場所: 三船会館

《編集後記》

寒い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。1面にもあります通り、三船病院では精神科救急病棟を立ち上げました。地域から求められる役割に応えていけるよう、今後も病院一丸となって取り組んで参りたいと思っています。

(三船病院相談室PSW)